

のぼりべつ 社協 だより

noboribetsu shakyo



特集 地域のつながりがカギとなる
「鍵預かりサービスモデル事業」が始まります

今年新しくふれあい・いきいきサロンとして発足した「みどり会」

かるやか体操を中心に、健康づくりと仲間づくりを進めています。毎月第4水曜日の10時から登別市婦人センターで活動しています。

CONTENTS

- P2-3 特集「鍵預かりサービスモデル事業」が始まります
- P4-5 赤い羽根共同募金運動が始まります
- P6 きずな かわら版
- P8 イベントのお知らせ

 2016
09.01 No. 127

【発行】 社会福祉法人 登別市社会福祉協議会

【事務局】 登別市片倉町6-9-1 登別市総合福祉センターしんた21内

【TEL】 0143-88-0860

【FAX】 0143-88-4546

【mail】 info@kizuna-shakyo.main.jp

【HP】 <http://kizuna-shakyo.main.jp/>



特集

地域のつながりがカギとなる

「鍵預かりサービスモデル事業」が始まります

■きずな計画づくりで地域の意識に変化が

登別市社協では、昨年度、地域にある制度だけでは解決しにくい様々な福祉課題について、地域住民や関係機関・団体、企業等がそれぞれ取り組むことをまとめた第3期登別市地域福祉実践計画「きずな」を策定しました。

計画策定の話し合いの中で、「町内会やご近所同士だけで行う活動には限界があるが、関係機関・団体等と協力することで活動がしやすくなる」という意見が挙げられるなど、地域全体で福祉を推進していくという意識が高まっています。

■多くの力をあわせて

地域住民のおもいに応えるため、登別市社協では地域に必要なサービスをつくり、人と人とを結びつける仕組みを構築する、「地域の支え合いづくり創出事業」を推進しています。

その一つとして、突然の病気やケガなどにより家屋内で動けなくなり、外部と連絡の取れなくなった一人暮らし高齢者等の早期発見や孤立死を予防することを目的とした、「鍵預かりサービス

モデル事業」に取り組みます。

9月から、登別小学校区と若草小学校区を対象に、きずな推進委員や町内会役員、民生委員・児童委員、小規模多機能型居宅介護事業所みずばしよう、特別養護老人ホームわかくさと連携・協力を図り、実施します。

なお、このサービスは赤い羽根共同募金の助成金を活用して行われます。

■鍵預かりサービスモデル事業とは

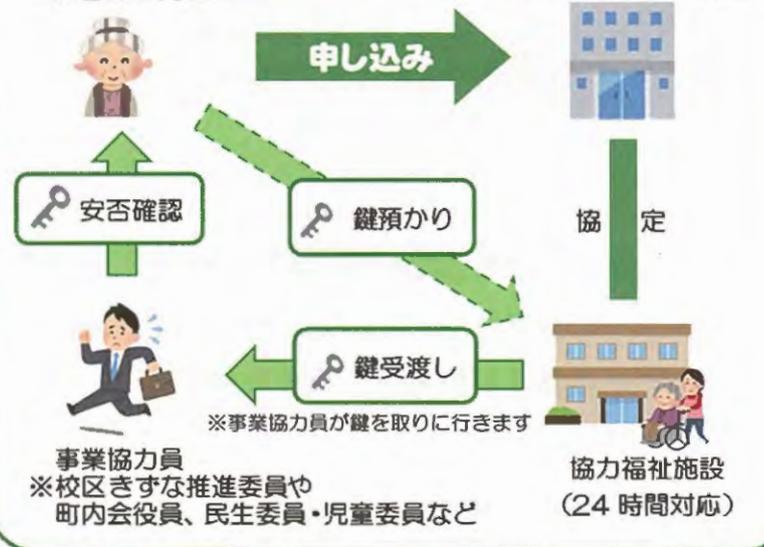
日頃の見守り活動において、呼び鈴などの呼び掛けに応答がなく、安否確認をする際に、鍵がかかっている場合は、確認が遅れてしまい、孤立死等につながってしまう可能性もあります。

このサービスは、孤立死等の防止を目的とし、事前に自宅の鍵をお預かりし、様子がおかしいと思われるときに、事業協力員が鍵を取りに行き、警察官や救急隊員の立会いのもと鍵を開け、安否確認を行うものです。

窓や扉を壊して自宅に入ることもないので、より速く安否確認を行うことができます。

「鍵預かり事業」(イメージ図)

一人暮らし高齢者 登別市社会福祉協議会



■ご利用できる方

登別小学校区（登別温泉町、中登別町、上登別町、カルルス町、登別東町、登別港町、登別本町、富浦町、札内町381番地）及び若草小学校区（若草町、美園町、上鷺別町）にお住まいの、75歳以上の一人暮らしの高齢者や認知症・障がいなどにより鍵の預かりが必要と思われる方などが利用できます。

今後は、全市展開に向けて他の小学校区においてもサービスが利用できるよう取り組みを進めていく予定です。

■お申込みの方法と注意

1. 申し込みは、原則ご本人もしくはご家族が行います。
2. 緊急連絡先（2名）の登録が必要となります。緊急時に、ご本人に代わって各種の判断をいただく場合があります。
3. 申込書と鍵と一緒に登別市社協に提出いただきます。
4. 申込書と鍵の受理後、「鍵預かり証」をお渡しします。鍵は申込者の前で、封入袋に入れて封印します。

鍵預かりサービスの仕組み・内容の説明を受けて、十分に納得されてからお申込みいただきます。まずは、登別市社協にご相談ください。

■お預かりした鍵を使用する場合の目安

- ① 新聞や郵便物がポストにたまっている
- ② 洗濯物が何日も干しっぱなしになっている
- ③ 部屋の明かりが昼間も点いている
- ④ 部屋の明かりが夜になっても点かない
- ⑤ 夜通しテレビの音が聞こえているが居住者の声や姿を見かけない
- ⑥ 助けを呼ぶような声を聞いた
- ⑦ 通常聞こえる生活音が聞こえない
- ⑧ 福祉サービス利用時に応答がない
- ⑨ 家屋から異臭がする
- ⑩ 遠方に住む親族から緊急の安否確認の要請があったとき など

■支える側の負担も少なく

登別地区民生委員児童委員協議会



会長 畠山 基子さん

以前サロンにいらしていた方の鍵を預かっていただくがありますが、その方が認知症になったことで私自身が不安になり、鍵を返したことがあります。また、他の民生委員・児童委員からは「鍵を預かることは責任が重いので難しい」といった声もあがっているため、福祉施設が適正に管理を行ってくれることで、地域住民の安心と安全にもつながります。このような取り組みが行われることを本当にありがたく感じています。1人暮らしの高齢者の方など、鍵の預かりが必要な方に活用してほしいと思います。

■地域住民の安心を守る

特定医療法人社団千寿会



総合施設長 高嶋 活哉さん

小規模多機能型居宅介護事業所みずばしよ

きずな計画を策定している時、地域における課題やこのサービスの必要性・重要性を聞きました。そのような地域の実情を知った以上、本施設としても協力しないわけにはいきません。このサービスを実施していくうえで、様々な課題も出てくる

と思います。しかし、まずはやってみながら見えてきた課題について考えていきたいと思えます。サービスを実施することで、地域住民の方々がこれまで築いてきた関係性を守り、その一助となるよう、皆さんと協力しながら、地域住民の安心を守っていききたいと考えています。

■複数の取り組みを組み合わせることで有効に

地域で暮らす高齢者等の生活を支えるためには、鍵預かりサービスだけではなく、地域の様々な活動と連携することが大切です。特に、町内会が実施する緊急時を意識した平常時からの見守り活動を進める「小地域ネットワーク活動」などとも連携しながら対象となる方を見守ることで、不幸な事故を減らしていくことが期待されます。

これらの取り組みを推進し、地域住民同士が支え合い、暮らし続けることができるまちづくりを目指します。

■住民主体による移動支援サービスモデル事業にも取り組みます！

公的サービスの利用が難しく、日々の買物や移動が困難な地域住民を支えるため、地域住民の主体的な取り組みとして、社協が所有する車両を活用した「移動支援サービスモデル事業」を実施する予定です。この事業は、幌別東小学校区をモデル地区として定め、地域の関係者等との協議のもと仕組みを構築し、事業を実施していきます。



赤い羽根共同募金運動が始まります

今年も赤い羽根共同募金運動が10月から始まります。
12月までの3ヵ月間、戸別募金をはじめ様々な方法で募金活動が行われます。

期間 10月1日～12月31日まで

目標額 7,100,000円

※共同募金は、社会福祉法に位置付けられた募金活動です。

募金の使いみち

市民の皆さんにご協力いただく寄付金の約7割が登別の福祉活動に、約3割が全道規模の広域的な福祉活動等に活用されます。

さまざまな募金方法

- ① 町内会を通じて各家庭に寄付を呼びかける「戸別募金」
- ② ボランティアの皆様が街頭に立ち、寄付を呼びかける「街頭募金」
- ③ 企業等を訪問して寄付を呼びかける「法人募金」
- ④ 個人宅を訪問して寄付を呼びかける「篤志家募金」
- ⑤ 会社などで働いている人に寄付を呼びかける「職域募金」
- ⑥ 児童・生徒への福祉教育を目的とした「学校募金」
- ⑦ 各種イベントでの「イベント募金」



その他にも募金箱の設置等、皆さん一人ひとりのできるカタチでご協力をお願いします。

あなたの地域でイベント募金

年間を通して市内の各種イベントにおいて共同募金のPR活動を実施しています。
全市的なイベントから、町内会・商店・企業・団体等の身近なイベントや行事まで、さまざまな場面で、のぼり旗や風船、募金箱等を設置いただきPR活動を展開しています。
各種資材の貸出も可能ですので、皆さんの地域でも設置が可能でしたら本会までお問合せください。

◎登別の福祉活動への助成

登別ではボランティア団体等への助成をはじめ、ご近所同士での声かけ・見守り活動である小地域ネットワーク活動や地域の居場所づくりを推進するサロン活動など、市民の皆さんが主体的に取り組む様々な地域福祉活動へ活用されています。



寄付金付きバッジ完成!!

「登別市PRキャラクター登幕くん」と

「登別市ご当地グルメ閻魔やきそば」



日本工学院北海道専門学校の学生さんのデザインで寄付金付きバッジを製作しました。今年は、登別閻魔やきそばの会の協力のもと、閻魔やきそばとのコラボが実現！本会及び一部の閻魔やきそば提供店等にて取扱いをしておりますので、ご希望の方は本会までご連絡ください。商品購入代金の一部は、登別市共同募金委員会を通じて、登別の福祉活動に活用されます。

登別閻魔やきそばの提供店について、詳しくはこちらをご覧ください。

※閻魔やきそばQRコード「グルメ」をクリック



登別限定
数量限定

登別の福祉を応援するこのバッジが、たくさんの人に届きますように!!

あなたも地域の 応援サポーターになりませんか？

北海道の福祉活動推進への貢献を目的とした、赤い羽根共同募金運動を応援するサポーターがいます。

- 『北海道日本ハムファイターズ(野球)』
- 『コンサドーレ札幌(サッカー)』
- 『レバンガ北海道(バスケット)』
- 『初音ミク』
- 『妖怪ウォッチ』等

赤い羽根 サポーター宣言

※登別で活動する地元のスポーツ団体・少年団・サークル等からの赤い羽根サポーター宣言もお待ちしております！



共同募金運動は2016年、70回目の活動を迎えます。寄付者、ボランティアの皆様にご心よりお礼申し上げます。

お問合せ先

登別市共同募金委員会
電話:88-0860 FAX:88-4546

法人・企業による募金(寄付)の取扱いについて

共同募金は、財務省からの指定寄付金として認められており、寄付に対する優遇措置の対象となっています。法人・企業が共同募金に寄付をすると、その全額を損金の額に算入することができます。

赤い羽根テントを助成しました!



登別市社協では共同募金の財源を活用した「きずな赤い羽根テント助成事業」を実施しており、今年度は4町内会が助成を受けました。

今後、町内会の行事等で活躍する予定です。



皆さんへの ありがとうメッセージ

新川町内会 会長
由井 武彦さん

自分の町内会において、ほぼ全戸に協力いただいている赤い羽根共同募金が、このような形で自分たちに還元されることをとても嬉しく思います。これまで所有していたテントが古くなったので、新しいテントを9月のお祭りで使用したいと思います。ありがとうございました。

きずな かわら版

きずなのまちづくり助成 助成事業決定！

登別市社協では、第3期登別市地域福祉実践計画「きずな」の主旨に沿った地域福祉活動やボランティア活動に対して、赤い羽根共同募金の支援を受け、事業に係る費用の助成を行っています。今年度は30の事業に対しての助成が決定しました。

皆さんへのありがとうメッセージ

助成事業を行っている団体のうち2カ所からメッセージをいただきました。

「要介護者対象衣類リフォーム事業」 ハンズ・メイト

私たちは在宅において、障がいや高齢などの理由で、不自由な生活を送る方々の生活衣類を使いやすくリフォームする活動を行っています。その種類は、ズボンの裾上げや古いジャージでの靴下カバー作り、マジックテープを付けるなど色々です。難しいこともありますが、出来る限り要望を叶えることができるようサポートしていきたいと思えます。

市民の皆さんの温かい想いがこもった助成金を大切に使用させていただき、活動を通して地域に還元していきたいと思えます。



「障がい児とその家族の交流する 場づくりと子育て相談サポート事業」 障がい者親子の会 ぼぼくらぶ

ぼぼくらぶは、障がいという「個性」を持ったわが子に充実した余暇を、そして同じ悩みを持つ親同士で話ができる場所が欲しいという思いから、いろんなイベントを毎年行っています。また、昨年からは幼児～小学生向けの「ぼぼきっす」も開催しており、毎週水曜日に製作活動やお母さんたちの情報交換などを行っています。

皆さんからの温かい善意は、活動を通じて個性を持った子どもと親の笑顔につながっています。本当にありがとうございました。



助成総額 1,162,000円 ※助成事業の一覧は登別市社協ホームページ上にて公開しています。

ビールパーティー 市民演芸会

ご報告とご案内

ビールパーティー

	益金
登別地区	120,199円
幌別地区	268,437円
鷺別地区	156,548円
合計	545,184円

市民演芸会

	日程・場所(予定)
登別地区	10月22日(土) 登別市婦人センター
幌別地区	12月 3日(土) 登別市民会館
鷺別地区	10月 8日(土) 鷺別公民館

現在の社会福祉基金積立金は **42,076,469円** です。
積立金は、市民とともに進める地域福祉活動の財源として活用されます。

働く障がい者とのきずなを紡ぐ

ふれあい・きずなショップ

今後の開催は **9月15日(木) 10:00~**
10月14日(金) 9:00~

場所：登別中央ショッピングセンターアークス

市内の障がい者福祉施設でつくられた選りすぐりの製品を販売いたしますので、ぜひお立ち寄りください♪



9月から ホームページを リニューアルしました!

より分かりやすい福祉活動の情報を発信するため、9月よりホームページを一新しました。

知りたい情報をすぐ探せる機能や、目が不自由な方でも見やすい工夫がされており、どなたにも使いやすくなりましたので、ぜひ一度ご覧ください。

〈新ホームページURL〉

<http://kizuna-shakyo.jp>

登別市社協



社協寄付金 (平成28年4月1日~7月31日)

(敬称略/単位:円)

受領年月日	寄付者名	寄付の目的	寄付金額
28.4.01	大友 ひろ世	父 樋口武雄様の葬儀に際し、社会福祉のために	5,000
28.4.05	室蘭民報社 中部支社	「新入学児童」新聞広告料の一部を社会福祉のために	30,000
28.4.07	新和産業株式会社	市内サロンのおもちゃ等の物品購入のために	50,000
28.4.13	登別市観光ボランティアガイド会	社会福祉のために	2,000
28.4.15	石坂 光汰朗	社会福祉のために	1,686
28.4.25	わしこうD愛好会	第13回ダンスパーティーの益金の一部を社会福祉のために	10,000
28.4.27	協同組合登別中央ショッピングセンター	愛の小箱(ガチャガチャ)	2,900
28.5.02	いずみ亭	愛の小箱	22,469
28.5.11	SPAR 幌別店 岸本	愛の小箱	3,073
28.5.14	国際ソロブチミスト登別	チャリティーコンサート「愛のうたの夕べ」の益金の一部を社会福祉のために	30,000
28.5.19	匿名	会議の費用弁償を社会福祉のために	920
28.5.22	仲良し会	仲良し会チャリティー発表会 第2回紅白歌合戦の益金の一部を社会福祉のために	20,000
28.5.22	NPO法人 ゆめみ〜る	日本料理「温味(ぬくみ)」とゆめみ〜る共催による「本格日本料理で食事会」の益金の一部を社会福祉のために	20,000
28.5.23	泉田 覚	父 泉田隆様が生前、本会配食サービス及び地域活動支援センターでお世話になった感謝の意を込めて社会福祉のために	100,000
28.5.25	のぼりべつクマ牧場	愛の小箱	8,655
28.5.27	匿名	会議の費用弁償を社会福祉のために	920
28.5.27	匿名	会議の費用弁償を社会福祉のために	2,480
28.5.27	匿名	会議の費用弁償を社会福祉のために	1,480
28.5.27	辻 勲	会議の費用弁償を社会福祉のために	1,020
28.5.30	辻 勲	会議の費用弁償を社会福祉のために	1,020
28.5.30	山田 大樹	会議の費用弁償を社会福祉のために	2,240
28.5.31	協同組合登別中央ショッピングセンター	愛の小箱(ガチャガチャ)	4,100
28.6.06	渡辺尚彦&ハーレムアイランダース	「渡辺尚彦&ハーレムアイランダース」結成50周年記念チャリティーコンサートの益金の一部を社会福祉のために	50,000
28.6.13	日本アマチュア歌謡連盟NAK室蘭支部	NAK室蘭&舩甚3兄弟カラオケ大会の益金の一部を社会福祉のために	20,000
28.7.01	協同組合登別中央ショッピングセンター	愛の小箱(ガチャガチャ)	2,500
28.7.06	わしこうD愛好会	第14回ダンスパーティーの益金の一部を社会福祉のために	10,000
28.7.09	鷺別地区ビールパーティー実行委員会	愛の小箱	41
28.7.09	幌別地区ビールパーティー実行委員会	愛の小箱	1,100
28.7.12	門山 郁子	日頃デイサービスでお世話になっている感謝の意を込めて社会福祉のために	3,000
28.7.25	いずみ亭	愛の小箱	24,159
28.7.24	チャリティー『演歌名人会』実行委員会	チャリティー『演歌名人会』の益金の一部を社会福祉のために	10,000
28.7.28	匿名	社会福祉のために	10,000
28.7.29	協同組合登別中央ショッピングセンター	愛の小箱(ガチャガチャ)	3,400

社協寄付物品 (平成28年4月1日~7月31日)

(敬称略)

受領年月日	寄付者名	寄付物品名
28.4.29	イオン北海道㈱ イオン登別店	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンギフトカード
28.7.28	匿名	未使用ハガキ52円(23枚)未使用ハガキ50円(62枚)未使用切手2円(100枚)

イベントのお知らせ

ふれあいフェスティバル2016 のぼりべつ

すべての市民が地域社会の一員として自立し安心して暮らせる心豊かな福祉社会の実現をめざし開催します。メインステージでは、ボランティア団体等による演奏や寸劇、地域活動に貢献している85歳以上の方への「高齢者いきいきライフ表彰」などを行います。

日頃から地域福祉活動を実践している団体等がブースを設け、子どもから大人まで楽しめる交流の場をつくりまします。

お誘い合わせの上、ぜひお越しください！



登別温泉
ペア宿泊券
があたります！

日 時：平成28年9月11日(日) 10:00~14:30

会 場：登別市総合福祉センターしんた21

内 容：ボランティア体験コーナー、チケットナンバーズ、焼き鳥やジンギスカンなどの販売(引換券制)、市内障がい者施設で作成するこだわりの商品の販売(現金販売)、子ども縁日コーナーなど

前 売 券：1枚1,000円(屋台で使える商品引換券7枚、チケットナンバーズ抽選券、子ども縁日利用券、伊達産野菜詰合せ抽選券付き)

9月9日(金)まで、本会事務局にて取扱いしています。

登別市ファミリーサポートセンター20周年・共同募金運動70周年記念事業

親子も大人も楽しめる

絵本パフォーマンスLIVE

皆様のおかげで、今年度登別市ファミリーサポートセンターは20周年、共同募金運動は70周年という節目を迎えます。これを記念し、登別では初となる絵本パフォーマンスの岸田典大さんによるステージなど親子で楽しめるイベントを開催します。岸田さんによる絵本と音楽などを組み合わせた新しい読み聞かせスタイルは、子どもはもちろん大人も楽しめるステージです。

たくさんの申込み、お待ちしております♪



日 時：平成28年9月30日(金) 10:00~12:30(絵本パフォーマンスは10:30~11:40の予定です)

会 場：登別市総合福祉センター しんた21 2階 多目的ホール

内 容：上記のほか、バルーンアートやハーブティーのコーナーなどをご用意します。

申 込 み：9月21日(水)までにお電話またはメール等でお申込みください。

定 員：70名(定員になり次第締め切りとさせていただきます)

※託児ブースもありますので、ぜひご利用ください(要事前申込み・定員10名)

お申込み、お問い合わせは ☎85-0033 または Eメール:info@kizuna-shakyo.main.jpまで!

